

令和 8 年度対タジキスタン無償資金協力「人材育成奨学計画」および「ドゥシャンベ市基幹電力系統変電所建設計画」に係る交換公文の署名

2026 年 8 月 11 日、タジキスタン外務省において、当地訪問中の英利アルフィヤ外務大臣政務官立ち会いの下、古田恵子大使とシロジッディン・ムフリッディン外務大臣との間で、「人材育成奨学計画（JDS プロジェクト）」に係る交換公文（上限金額 2.96 億円、約 185 万ドル）および「ドゥシャンベ市基幹電力系統変電所建設計画」に係る交換公文（上限金額 32.55 億円、約 2,034 万ドル）への署名がなされました。

JDS プロジェクトは、将来タジキスタンの開発課題の解決に貢献することを目指して、国を牽引することが期待される若手公務員・行政官 15 名に対し、日本の大学院にて 2 年間で修士号を取得するための奨学金を毎年付与するプロジェクトです。タジキスタンで 2009 年に開始した本プロジェクトでは、合計 152 名が奨学金を受給し、117 名が修士号を、1 名が博士号を取得した実績があります。JDS 帰国留学生は、日本とタジキスタンの関係強化に資する役割を果たしています。

タジキスタンの約 21%の電力需要を占める首都ドゥシャンベ市では、冬季の暖房使用、人口流入、都市再開発計画に伴う商業施設・住居・公共施設の拡充により、電力需要の増加（2023 年から 2030 年の年間電力需要増加率は約 3%）が見込まれます。本プロジェクトは、ドゥシャンベ市において、220kV の送電用変電所の新設及び関連機材の供与を行うことによって、タジキスタンの経済・産業基盤の整備に寄与します。

これらの無償資金協力プロジェクトは、2025 年 12 月に初めて東京で実施された「中央アジア＋日本」対話・首脳会合の成果として採択された首脳共同宣言（東京宣言）における重点協力 3 分野のうちの「人づくり」と「グリーン・強靱化」を具体化するものです。



